



タワーに重りを取り付ける参加者

## つまようじ塔耐震性競う

### 県内外の16高校参加

高校生がつまようじで作ったタワーの耐震性を競うコンテストが24日、熊本市西区の崇城大学で開かれた。高校生に耐震性などへの関心を高めてもらうことが目的で、同大が主催し、今回で6回目。県内外の高校16校から54組がエントリーした。

参加者は2人1組でつまようじと木工用接着剤を使

い、30センチ四方の台座上で、高さ50センチ以上、重さ85グラム以下になるようにタワーを作成。タワーの2か所に重りを付けたうえで振動を加え、耐震性を競う。徐々に重りを増やし、最後まで耐えたタワーが優勝となる。

建築を学んでいない生徒らが参加するカテゴリー1では、熊本地震をきっかけに耐震に関心を持ったとい

う、熊本北高2年の豊岡亮司さん(16)と野宮航太さん(17)が優勝。そのほかのカテゴリー2では玉名工高3年の坂田峻さん(18)と小林輝紀さん(17)が頂点に立った。